

玉江校区社会福祉協議会だより

玉江のきずな

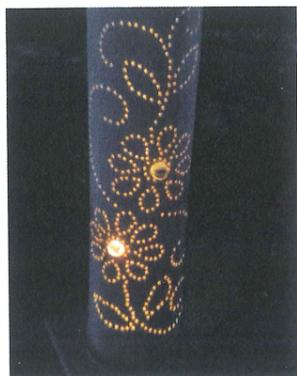
〒890-0005
鹿児島市下伊敷1-35-1
玉江校区社会福祉協議会
TEL 813-7125
FAX 813-7126

玉江社協がめざすもの !!

玉江校区社会福祉協議会
会長 田代 明美

例年より梅雨明けが遅く、全国的に線状降水帯による被害のニュースを目にしました。鹿児島市も8・6水害から30年経ち、何年経っても心が痛みます。

私が住んでいる柴門町内では、亡くなられた方々への鎮魂の「竹灯籠」を8月6日甲突川（ハートピア前）に灯し祈りを捧げる予定です。二度とこのような災害が起こらないよう、また、起こったとしても隣近所で助け合う連携・組織作りが大事



だと思えます。自助・互助・共助・公助！！

社会福祉協議会は下伊敷及び小野地区の各町内会長・地域福祉委員・民生委員のご協力のもと、高齢者の見守り活動・子ども&高齢者とのふれあい交流会・子育てサロン・介護及び認知症講習会等、住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを役員一同目指していきます。



本協議会を今後ともご理解・ご支援いただきますようよろしくお願い致します。

- 通年 福祉マップ作成中
- 8月 認知症講習会
- 11月 介護講習会
- 12月 赤い羽根共同募金
- 1月 成年後見制度講習会（未定）

「成年後見制度について」

社会福祉士 田中 正信

皆さん、こんにちは。私は社会福祉士として「成年後見人等の受任」の仕事をしています。

今日は、成年後見制度について少しだけお話します。成年後見制度とは、精神・知的障害、認知症などの理由で判断能力が低下した方（以下本人）に成年後見人・保佐人・補助人等の法定代理人がつき、本人の身上保護（各種法律行為）、財産管理を行うという制度です。

法律行為とは、施設との入所「契約」や市役所などでの諸手続きなど多岐にわたります。直接本人の身体を拭いたりといった行為は「事実行為」といって、成年後見人等の仕事の範囲外となります。



この制度が始まったころは、親族が後見人等になることが多かったのですが、現在では、専門職後見人（司法書士・弁護士・社会福祉士等）が約8割となっています。報酬の額は、私たち後見人ではなく、「家庭裁判所の裁判官が決める」ことになっています。本人の財産の状況などから本人の財産を圧迫しない範囲で裁判官が額を決定します。申し立て費用については、分割払いをすることもできます。

制度を利用したいが、本人の身近に申立人がいない場合には、市町村長が申立人となってくれる制度もあります。身近に「夫が認知症になり、銀行から『後見人をたててくださらないと今後は引出しはできません』と言われて、お金が引き出せなくなった。」といった話を聞いたことはありませんか。超高齢社会となった現在の日本では、今後、ますます成年後見制度の利用の増加が見込まれてきます。今後詳しく説明させていただく機会を設けてもらう予定ですので、皆さまぜひともご参加ください。

紹介コーナー 下伊敷の元気びと



手作りマジック
「末吉正人」さん

さつま団地にお住いの「末吉正人」さんは、現在81歳で手作りマジシャンです。

本来は、建設業の技術者でもあり会社経営もされています。唯一の癒しは犬迫小学校近くにある実家の畑で野菜作りと果樹栽培、また筍山の手入れでした。

70歳の古希のお祝いの時に息子さんから「お父さんは仕事が趣味で、歌や踊りも出来ないと、それでは人生寂しいんじゃないの？」と言われた一言で「なるほど」と思い、自分の人生を生き生きとするものは何かと考え抜いた時に思い当たったものが手品でした。早速、元中学校の先生をされていた方に弟子入りし教材やDVDなどを紹介してもらいながら特訓を受け、皆さんの前でマジックを披露できるようになった次第です。その後、お達者クラブ、児童クラブ、地区の文化祭などにも呼ばれるようになり、現在では、伊敷をはじめ他の地区の公民館でのマジック披露に毎月参加できることが喜びとなっています。更に西伊敷小学校、郡山の八重大学、県建設技能組合、各地域の文化祭、さつま団地敬老祝賀会などでも披露してきましたが、ここ3年間は新型コロナで中止されており、今年の開催を楽しみにされているそうです。



また、城西公民館講座のマジック部門の講師も務めることとなり、山や畑仕事に加えてボランティアでの楽しみが増え、一日が本当に短く感じる毎日だそうです。（取材 編集部）

「社会福祉協議会より一言」

このように地元さつま団地をはじめ、玉江校区以外を含めて活躍されている末吉さん、今後ますますのご発展を祈念するとともに奇抜なマジックをとおして地域に活力を与えて下さることを期待します。

かかやく仲間たち

鶴之村お達者クラブの活動について

末吉 とよ子

鶴之村お達者クラブは、最初に長寿会、その後の時間をお達者の活動として実施しています。お達者の運営は、2人の健康づくり推進員さんが、保健センターや講師の方の連絡や講座の準備等細やかにお世話頂いています。長寿会の会長さんにはお達者の進行役やお達者の運営の相談役として頼りにしています。

当お達者の強みはいくつかあります。二人の運動普及推進員さんがおられ、らくらく体操他、年間の講座も数回担当して心身ともに元気にしてもらっていること。

また、皆で歌うための歌集の作成、折り紙指導や歴史の情報等を提供して下さる人がいること。運営を手伝って下さる人がいること等々あります。一番は、96歳を筆頭に90代が5人もおられ、戦前戦後の大変な時期を乗り越えてこられた歩みを伺うことも大事な学びの時間です。

月2回の集まりですが、お互いの体を気遣い心配し、またゲーム等では本気で戦い、外部からの講師や学生が来られると、大歓迎し、にぎやかに質問したりしております。

今回玉江のきずなに「私達のお達者をどう紹介したらいい？」と 仲間のお一人にお聞きした答えが「和気あいあい」「人間性がいいよね」でした。これからも声を掛け合い少しでも長く一緒に過ごせますように願っています。

7月7日のお達者では、七夕づくりをし、昔話をしながら一生懸命頑張りました。でき上がった七夕は小野市民館に飾ってありますので近くにいられた時は見てください。

